

石岡市総合計画 第2期基本計画

令和6年度

リーディング プロジェクト

共生・共育・共働によるまちづくり

▶ 目次

■ 目指すべき将来の姿、市の方針	1
■ リーディングプロジェクト	2
■ 人口減少対策プロジェクト	3
■ 輝く「魅力向上」プロジェクト	9
■ 輝く「まち」プロジェクト	11
■ 輝く「ひと」プロジェクト	13
■ 輝く「暮らし」プロジェクト	15
■ チャレンジする市役所プロジェクト	17



石岡市



石岡市の目指すべき将来の姿

本市では、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、あらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができるまちを目指しています。

誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現に向けて、石岡市総合計画基本構想では、以下のように、**目指すべき将来の姿（将来像）**と、**将来像の達成に向けて大切にしている基本理念**を掲げています。

石岡市総合計画 基本構想 【計画期間：令和4年度～令和13年度】

（本市の最上位計画として、10年間のまちづくりの指針を示している計画）

目指すべき将来の姿（将来像）

『誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市』

将来像達成に向けて大切にしている基本理念

「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」



市の方針

目指すべき将来の姿の達成に向けて、石岡市総合計画第2期基本計画では、**市の方針**を以下のよう

共生 －共に生きる－	共育 －共に育つ－	共働 －共に働く－
◇安全・安心に暮らせる社会 ◇都市基盤の整備 ◇環境の整備保全 ◇一人ひとりが活躍し、認め合う地域社会	◇子育て世代に魅力的なまちづくり ◇市民一人ひとりの学びを支援 ◇保健、医療、福祉が充実した社会 ◇社会情勢の変化にも迅速かつ柔軟に対応できる社会	◇誰もがいきいきと働き続けることができるまち ◇積極的な魅力の発信 ◇愛着や誇りの醸成 ◇連携、協働によるまちづくり



リーディングプロジェクト

総合計画をより実効性の高いものとするために、第2期基本計画の計画期間（令和6年度～令和9年度）において、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。輝く「魅力向上」・輝く「まち」・輝く「ひと」・輝く「暮らし」・「チャレンジする市役所」の5つのプロジェクトに加えて、本市の喫緊の課題解決に向けて『人口減少対策プロジェクト』を位置づけ、迅速かつ効果的に施策展開を行います。

人口減少対策プロジェクト ～ あなたの「希望」があるまち いしおか ～

本市の人口は平成17年(2005年)10月1日の合併時の81,887人と比較すると、令和5年(2023年)10月1日現在で70,333人まで減少しており、今後も減少していく予測となっています。

人口減少対策としては、出生率の向上が重要であり、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる魅力的なまちづくりを進める必要があります。

また、若い世代にとって魅力的なまちになることで、転出者の抑制、転入者の拡大につながっていきます。



輝く『魅力向上』プロジェクト

～ あなたの「推し」があるまち いしおか ～

本市の強みである歴史や観光などの地域資源を最大限に活用し、市の「魅力」を「向上」させることで、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ち、自らその魅力を市内外に広く発信できるまちを目指します。



輝く『まち』プロジェクト

～ あなたの「安心」があるまち いしおか ～

市民が日々生活する基盤である「まち」をよりよいものとしていくため、災害や犯罪などの社会的な不安要素に対して、自助・共助・近助・公助により安全・安心の確保を目指すとともに、都市部・田園空間それぞれの特性を活かした都市基盤の整備・生活環境の向上を目指します。



輝く『ひと』プロジェクト

～ あなたの「生きがい」があるまち いしおか ～

市民一人ひとりの生涯に焦点をあて、市民の健康増進、医療の充実、福祉の向上を目指すとともに、結婚、出産、子育て、教育・学びといった生涯のあらゆるライフステージでいきいきと生活を送れるまちを目指します。



輝く『暮らし』プロジェクト

～ あなたの「活躍」があるまち いしおか ～

市民が日々生活する地域の「暮らし」を充実するため、地域内で自立し、持続可能な産業振興を進めます。

また、市民がいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、市民や事業者などが行政と一体となって共にまちづくりを進めることで、多様性を尊重した共生社会の構築を目指します。



チャレンジする市役所 プロジェクト

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくため、「行財政改革大綱」として、すべての分野を支ええる「チャレンジする市役所」を位置づけています。

「組織・人材マネジメントの充実」と「経営・財務マネジメントの充実」を2大テーマとして、各施策を横断し、重点的・戦略的に取り組みます。



人口減少対策 プロジェクト



若い世代が結婚、出産、子育ての希望をかなえられる魅力あるまちづくりを進めるため、出生率向上と移住推進の2本柱を人口減少対策の政策パッケージ化しました。



STAGE 1

結婚・新婚世帯支援

新規 【コミュニティ推進課】

結婚支援事業

901 千円

結婚を希望していながらも出会いの場が少ないことから結婚がかなわない方に対して、茨城県や石岡市などが支援しているAIマッチングサービス等を提供している「いばらき出会いサポートセンター」の登録料を補助します。また、民間マッチングアプリの利用料等についても補助します。

新規 【人口創出課】

子育て世代マネープラン事業

1,255 千円

「子育て世代マネープランセミナー」の開催と「子育て世代マネープラン冊子」を発行します。

子育てや教育に必要な費用と関連する公的な支援を見える化することで、子育てに必要な費用のイメージを描きやすくし、子どもを産み育てたいと思えるよう、啓発活動に取り組めます。

【こども未来課】

新婚世帯・子育て世帯

新生活支援事業

8,100 千円

新婚世帯や子育て中の世帯の定住を促進するため、住みよい環境づくりを支援します。

一定の条件を満たした子育て世帯の方及び新婚世帯の方に家賃や引っ越し費用の補助を行います。



STAGE 2

妊娠期・出産支援

新規【子育て応援課】

こども家庭センターの設置

子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業拡充のため、こども家庭センターを設置します。妊産婦や乳幼児の保護者支援のほか、虐待や貧困などの問題を抱えた子ども、保護者を支援する機能を有し、子育ての悩みや不安に対して、切れ目のない支援を行います。

【子育て応援課】

不妊・不育症治療費助成

4,500 千円

不妊治療や不育症に対する経済的な支援により、前向きに治療に取り組むことができるきっかけづくりを行うことで、妊娠を希望する方へのサポート体制の充実を図ります。

【子育て応援課】

妊産婦健康診査の助成

41,143 千円

すこやかな妊娠と出産のため、妊婦健康診査はとても大切です。石岡市では、妊婦健康診査は16回まで、産婦健康診査は2回までの公費負担を行っています。

【子育て応援課】

妊婦歯科健康診査の実施

1,078 千円

妊娠中に歯科健診を行い、予防対策、口腔ケア及び食育の推進等についての情報提供や普及啓発を図ります。

新規【子育て応援課】

子育て支援アプリの導入

528 千円

伴走型支援の一環としての情報提供やアンケート機能及び育児支援ツールとして母子健康手帳機能を含んだ子育て支援アプリを導入します。

【子育て応援課】

妊産婦タクシー利用補助

500 千円

いざという時の通院手段の不安解消と通院にかかる交通費負担を軽減するため、タクシーの利用料金について1回の妊娠につき4回まで、1回上限10,000円を補助しています。



【子育て応援課】

出産・子育て応援給付金

41,050 千円

出産や育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行い、必要な支援につなげる伴走型支援と、出産、育児用品の購入や子育て支援サービスの利用に活用していたくための経済的な支援として計10万円の現金給付を行います。

STAGE 3

乳幼児期の支援

拡充 【子育て応援課】

すくすく赤ちゃんクーポン事業 20,631 千円

乳児の健やかな成長を願い、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、満1歳未満児の子育て用品と引き換えることができる「すくすく赤ちゃんクーポン券」を交付します。



拡充 【生涯学習課 中央図書館】

ブックスタート・セカンドブック事業 1,321 千円

これまで4カ月健診の際に、はじめての絵本プレゼントとしてブックスタート事業を行っています。あわせて、令和6年度からは、2歳児健診の際にもセカンドブックとして絵本をプレゼントします。親子で絵本を通して心豊かな時間を過ごす機会を作りながら、読書活動の推進を行います。



【子育て応援課】

産後ケア事業 2,085 千円

産婦健康診査等によりケアが必要と判断された母親に対し、訪問・宿泊・通所による支援を行い、母親の身体的回復と心理的な安定を促進します。



【保険年金課】

マル福の拡充 (市独自で対象者を拡大) 55,421 千円

市内に住む医療保険加入者で小児、妊産婦、ひとり親家庭の児童と父又は母、重度心身障がい者を対象に、保険診療に係る一部負担金を助成しています。加えて県のマル福制度の所得基準額を超えたことにより対象外となった小児、妊産婦及び中学生から18歳までの外来受診に対し、保険診療に係る一部負担金を助成します。

【健康増進課 地域医療対策室】

こども休日診療の実施 4,941 千円

小児科の休日診療として日曜、祝日、年末年始において、石岡第一病院の外来休診日に実施します。

STAGE 4

小学生・中学生への支援

新規 【学校給食課】

令和6年度の学校給食費の無償化

市内小中学校に通う児童生徒の保護者が負担する学校給食費を免除します。（関連して、食物アレルギーにより、弁当を持参している児童生徒の保護者に対して学校給食費相当分を補助します。）

新規 【教育総務課】

スクールバスの保護者負担軽減

スクールバスの利用に係る保護者負担軽減のため、統合される小学校および通学距離が国の基準を満たす小学校で4 km、中学校で6 km以上の場合は原則無償化します。（それ以外は月額3,000円を月額2,000円に減額します。）

【教育総務課】

新入学祝記念品

ランドセル贈呈

11,734千円

小学校に入学する児童に対し、入学祝品として、ランドセルを給付することで、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

拡充 【学校教育課】

教育相談機能の充実

30,101千円

幼児教育相談室（ひまわり教室）、教育相談室（あすなろ教室）と、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育アドバイザーがより連携を強化し、子供たちの支援に関する相談体制の充実を図ります。

新規 【教育総務課 学校再編推進室】

保護者向け連絡アプリの導入 1,119千円

児童生徒の保護者、教職員の利便性の向上及び負担軽減を図るため、保護者向けの一斉連絡支援システムを試験的に導入します。

（お知らせ配信／欠席・遅刻等の連絡確認／アンケート／登下校管理／スクールバス機能をスマホ等で行えるシステム）

拡充 【教育総務課】

路線バス利用者への支援 10,222千円

通学に路線バスを利用している児童生徒の保護者負担軽減のため、通学距離が国の基準を満たす小学校で4 km、中学校で6 km以上の場合は原則全額補助を行います。



【社会福祉課】

こどもの学習支援

6,588千円

生活保護世帯や生活困窮状態にある世帯の児童生徒に対し、学習支援、悩みや進学に関するアドバイス等を行い、児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立や学習意欲の向上を図ります。

STAGE 4

小学生・中学生への支援

新規 【人口創出課】

赤ちゃんふれあい体験の実施 **319** 千円

赤ちゃんやその家族と生徒が交流する機会を設け、生徒が命の大切さを学び、出産や子育てを好意的に感じることができ、事業を実施します。

新規 【生涯学習課】

いばらきっ子郷土検定表彰 **47** 千円

茨城県が主催している「いばらきっ子郷土検定」において優秀な成績を収めた生徒を表彰することで、郷土について学び、愛郷心を強く抱く生徒の育成を図ります。

STAGE 5

高校生・大学生・社会人への支援

拡充 【教育総務課】

高校生への給付型奨学金 **3,600** 千円

人物および能力ともに優秀でありながら経済的な理由から就学困難な生徒に対して、返還の必要のない奨学金を給付します。従来の制度から金額及び採用予定者数を拡充し、より多くの方の支援します。

【商工観光課】

高校生等対象の企業説明会・就職説明会等による地元企業支援 **431** 千円

高校2年生対象の企業説明会や、高校3年生・新卒者等対象の就職説明会など、就業環境向上機会を設け、就職と採用ニーズのマッチング支援や若年層の将来の選択肢を地元を広げるとともに、地元での就職・創業の支援等を実施し、市内及び近隣で就職しやすい環境づくりに取り組みます。



新規 【商工観光課】

奨学金返還支援事業 **4,872** 千円

市内企業等の人材確保を図るため、大学等を卒業後、市内企業に就職し、県奨学金および日本学生支援機構奨学金等の奨学金を返還している市内定住の35歳未満の市民に対し、奨学金返還費用の一部を補助するとともに、介護・福祉分野等の従事者へは補助率をかき上げします。



【人口創出課】

通学者・通勤者の定期券・特急券購入補助 **18,504** 千円

転出抑制と移住推進、通勤通学に係る経済的負担の軽減のため、JR常磐線を利用して通勤通学している方の、特急券および通学定期券の購入費を一部補助します。

STAGE 6

移住・定住支援

新規 【人口創出課】

移住コーディネーターの設置 **3,234** 千円

移住者・移住希望者からの相談対応として、市内コーディネーターや移住定住に関するイベント等への参加・協力等を行う移住コーディネーターを設置し、移住者・移住希望者の個別ニーズに対応できるようにします。

新規 【人口創出課】

民間事業者と連携した 移住支援事業の実施 **3,000** 千円

国が推奨するサウンディングの手法を活用し、移住に結び付く民間事業者等からの自由な発想を踏まえた事業提案を受けることで、優秀な提案をした事業者と共に移住施策に取り組めます。

拡充 【建築住宅指導課】

住まいに関する助成事業 **19,900** 千円

市外からの転入者が住宅を建築する場合、その建築費用の一部を補助します。従来制度の拡充として、一定の条件を満たしたUターン移住者においては補助額に最大20万円上乗せします。

【農政課】

新規就農者への支援 **47,875** 千円

朝日里山ファームにおいて、新たに農業を営もうとする方に、農業経営に必要な技術や知識を習得する環境を提供し、有機農業などの地域農業を支える担い手育成や活性化を図ります。また、石岡市新規就農者支援センターでは、就農相談から就農後の定着・経営発展まで支援を行い、次世代を担う農業者の経営確立支援を推進します。



▲ 移住ツアーの様子（いばらきフラワーパーク）

拡充 【人口創出課】

移住支援金 **17,200** 千円

首都圏からの移住促進のため、一定の条件を満たした移住者に移住支援金を交付し、本市への移住を促します。



【商工観光課】

創業支援・ 住宅店舗等リフォーム支援 **10,175** 千円

市内空き店舗等への新規創業を目指す方を応援する「創業支援事業費補助金」や住環境の整備、店舗の魅力度や機能性の向上を支援する「住宅・店舗等リフォーム支援事業補助金」により、市内で事業を行う方や、住環境の向上を図りたい市民・移住者を支援します。

輝く「魅力向上」プロジェクト

関係人口や交流人口の創出に向けて、シティプロモーションをはじめとする様々な取組を行うとともに、本市の強みである歴史・文化財の保存や活用、観光資源の磨き上げなどを通して「魅力向上」を図ります。

関係人口・交流人口の創出

拡充 【秘書広聴課 わがまち発信室】

シティプロモーションの推進 8,641 千円

本市のブランドメッセージやロゴマークを積極的に活用するとともに、動画やSNS等による情報発信を充実させることで、効果的なシティプロモーションに繋がります。

あわせて、市の特徴を生かした石岡らしい統一的な公共サインを整備するため、公共サインのガイドラインを策定し、認知度の向上や関係人口の拡大、市民によるふるさとへの愛着の醸成を図ります。



◀ 本市のロゴマークとブランドメッセージ



▲ 石岡つくばねマラソンの様子(令和5年2月19日開催)

新規 【秘書広聴課】

合併20周年に向けた取組 550 千円

令和7年10月に本市は合併20周年を迎えます。ふるさとへの愛着や誇りを醸成し、今後の石岡市の発展の契機となるような記念事業の実施に向けて、各取組を進めます。



▲ 令和5年度の地域おこし協力隊

【スポーツ振興課】

石岡つくばねハーフマラソン大会の開催 16,000 千円

令和5年度から「石岡つくばねハーフマラソン Live every moment!」を開催しています。市内外から多くの人々が訪れることで、関係人口や交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指します。



▲ 石岡地区・八郷地区それぞれの上空からの写真

【人口創出課】

地域おこし協力隊活動支援 26,400 千円

地域おこし協力隊による地域の魅力発見、地域ブランドの向上などの活動を通して、関係人口の増加を図るとともに、隊員の定住・定着を図ります。



- ☑ 政策目標 1 情報発信
- ☑ 政策目標 2 歴史・観光

歴史・文化財の保存・活用

【文化振興課】

国指定史跡等の
公有地化事業 **15,784** 千円

国の指定を受けた史跡の公有地化を進めることにより、保存と活用を図り、貴重な文化財として後世に残していきます。令和6年度は舟塚山古墳周濠部の公有地化を進めます。



▲ 舟塚山古墳

【文化振興課】

出土品保存処理分析事業 **4,126** 千円

発掘調査等により出土した遺物（主に鉄製品）について、適切な保存状態を確保し展示等に活用できるよう、保存処理及び科学分析を行います。

【文化振興課】

民俗文化財等調査事業 **11,807** 千円

常陸國總社宮祭礼の獅子・山車・さきら行事に関して、令和5年度から継続して調査を行い、報告書を作成します。

観光振興の強化

【商工観光課】

観光協会の観光振興への取組 **67,348** 千円

石岡市観光協会の法人化により、本市の様々な観光資源をより効果的効率的に活用した観光振興に取り組めます。また、新たな魅力を発掘し、事業実施へとつなげることで、本市の観光振興の深化を図ります。



▲ いばらきフラワーパーク内 パラのトンネル

拡充 【産業プロモーション課】

誘客プロモーションの推進 **15,000** 千円

国内外から「観光客を誘致する」誘客プロモーションを実施します。新たな商品造成やSNS、動画等によるPRなど効果的な誘客促進を図ります。

【商工観光課】

いばらきフラワーパーク
駐車場整備事業 **7,370** 千円

いばらきフラワーパークでは、季節を感じるアクティビティや四季折々の花々、イルミネーションやバラ祭りなどの充実により観光客の増加を目指しています。隣接する駐車場の整備を実施し、渋滞緩和対策を行うとともに、常陸風土記の丘など、他の観光施設との連携により、本市の魅力が伝わる観光拠点づくりに努めます。

輝く「まち」プロジェクト

石岡駅周辺の整備や、高浜駅周辺のまちづくりの検討などをはじめとした取組により、住みよいまちを目指します。また、災害の発生や犯罪などに対して安心して暮らせる環境整備、ゼロカーボンシティに向けた取組などを進め、市民が日々生活する基盤である「まち」づくりに磨きをかけます。

住みよいまちづくりの推進

【駅周辺にぎわい創生課】

石岡駅周辺整備事業

84,514 千円

石岡駅周辺地域を中心拠点と位置づけ、一定の公共施設の機能充実や集約化を図ることで、都市生活の利便性や快適性の向上を目指します。令和6年度は、国分町ポケットパークの整備とステーションパーク利活用検討調査の結果を踏まえた改修工事を行います。



▲ JR石岡駅



▲ 上曽トンネル本体工事の様子と上曽峠付近の上空写真

【道路建設課】

上曽トンネル整備事業

205,000 千円

地域住民の生活・交流に加え、地元産業や物流・観光を支える重要な路線として、上曽峠のトンネル整備を進め、県南地区と県西地区間のネットワーク強化による広域的な地域活性化を目指します。

【駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室】

複合文化施設整備基金

100,000 千円

地域文化をはじめとする文化芸術を継承、交流、発信する文化拠点であるとともに、人々が集い、互いに絆を結ぶ交流拠点を目指します。着実に施設整備を進めることを目的に、令和5年度に引き続き、施設整備に係る事業費の計画的な確保に取り組みます。

【下水道課】

高浜地区の下水道の整備

127,556 千円

高浜地区の下水道整備の認可を受け、令和6年度より下流側から工事を行います。高浜地区のよりよい生活環境の向上を目指して、取組を推進します。



▲ グリーンスローモビリティ

【都市計画課】

グリーンスローモビリティ

実証事業 6,397 千円

環境に配慮した新たな交通手段として、市民の地域におけるコンパクトな移動実現のため、グリーンスローモビリティの実証実験を実施します。



- ☑ 政策目標3 安全・安心
- ☑ 政策目標4 都市基盤・環境

安心して暮らせる環境整備

【生活環境課 空家相談室】

空家等対策事業

2,137 千円

空家に関する窓口を一本化し、相談環境の拡充などを行うことで、利便性の向上を目指します。また、石岡市空家等対策計画に基づき、新たな空家等の発生を予防・抑制するため、空家等の適切な管理を行うとともに利活用を推進します。



▲ 令和5年度に実施した地域防災訓練の様子

【防災危機管理課】

災害リスクに備えた 防災体制の充実

1,410 千円

市民の安全・安心のため、災害リスクに備えた対策、危機管理の一環として、防災訓練を行っています。令和6年度は浸水想定区域において、有事に備えた訓練を実施します。また、地域コミュニティによる自助、共助の強化等を目的として、自主防災組織の設立・活動に関する支援を継続します。

新規 【コミュニティ推進課】

防犯灯電気料支援事業

16,886 千円

防犯対策などの安全・安心のため、区や自治会等で管理する防犯灯について、電気料の一部を支援し、財政的負担の軽減を図ります。

ゼロカーボンシティに向けた取組

【生活環境課】

プラスチックごみの 再資源化事業

2,195 千円

プラスチック使用製品廃棄物を資源ごみとして収集し、再資源化・再商品化に向けた取組を進めています。

令和5年度に実施した市民参加型の実証実験の結果を踏まえ、令和6年度も、引き続き、プラスチックごみの回収、再資源化を行うとともに、再商品化に向けた取組を推進します。

新規 【生活環境課・総務課・下水道課】

電気自動車の導入

9,264 千円

脱炭素社会を見据え、新たに電気自動車を導入することにより、カーボンニュートラルに向けた取組を推進します。

ゼロカーボンシティに向けたその他の主な取組

- ☑ 霞台厚生施設組合のごみ焼却熱発電からの電力購入
- ☑ 施設のエネルギー消費削減
- ☑ 家庭用蓄電システム導入促進補助金



輝く「ひと」プロジェクト

妊娠・出産・子育て・教育に対して、切れ目のない支援を行うことで、総合的な子育て支援、教育環境の充実を図ります。また、石岡市に必要な保健・医療体制の強化を図ることや、生涯現役社会を目指すことで、それぞれのライフステージでの活躍を支援します。

子育て支援の充実

新規 【子育て応援課】

こども家庭センターの設置（再掲）

子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業拡充のため、こども家庭センターを設置します。妊産婦や乳幼児の保護者支援のほか、虐待や貧困などの問題を抱えた子ども、保護者を支援する機能を有し、子育ての悩みや不安に対して、切れ目のない支援を行います。



新規 【こども未来課】

保育所等の体制強化推進 **59,009** 千円

保育士の業務負担の軽減を図り、保育の質の向上や人材確保を目的として、保育所等における業務のICT化の推進や保育補助者の雇用に要する費用に対する支援を行います。

拡充 【子育て応援課】

すくすく赤ちゃん クーポン事業（再掲） **20,631** 千円

乳児の健やかな成長を願い、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、満1歳未満児の子育て用品と引き換えることができる「すくすく赤ちゃんクーポン券」を交付します。

保健・医療体制の充実

【健康増進課 地域医療対策室】

地域医療対策事業 **38,121** 千円

病院群輪番制や小児科休日診療、小中学校への出前講座などの取組を引き続き実施するとともに、一次緊急診療（内科の再開）や産科の設置等に向け、かすみがうら市、小美玉市と連携して協議を継続し、石岡地域に必要な医療体制の構築を目指します。

新規 【健康増進課】

総合保健センター（仮称） 整備事業 **27,620** 千円

老朽化している石岡保健センターと八郷保健センターを統合し、新しく総合保健センター（仮称）を整備します。設備面、機能面ともに強化し、幅広い世代の健康づくり支援だけでなく、併設予定のこども家庭センターと連携し、子育て世帯への支援の充実を図ります。



- ☑ 政策目標5 健康・福祉
- ☑ 政策目標6 子育て・教育・学び

教育環境の充実

新規 【学校給食課】

令和6年度の学校給食費の無償化（再掲）

市内小中学校に通う児童生徒の保護者が負担する学校給食費を免除します。（関連して、食物アレルギーにより、弁当を持参している児童生徒の保護者に対して学校給食費相当分を補助します。）

新規 【学校給食課】

学校給食への有機食材活用促進事業 4,429 千円

市内小中学校における給食の材料として、地元産の有機米や有機野菜といった有機農産物の活用率を高めます。学校給食の安全・安心の向上と児童生徒に対する食育を推進します。

新規 【教育総務課 学校再編推進室】

プール授業民間委託事業 3,311 千円

地域にある民間プール施設を活用し、専門の指導員による水泳授業を受けることで、児童生徒の泳力向上などの水泳授業の充実を目指します。令和6年度は数校を選定し、試験的に導入します。



▲ 市内小学校での授業の様子①

新規 【生涯学習課】

コミュニティ・スクールの導入 5,622 千円

現行の学校評議員制度に代わり、保護者や地域住民等が委員として学校運営に参画するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を市内全小中学校に導入します。学校と地域が連携・協働した地域学校協働活動を実施することで、学校教育の充実と地域の教育力向上を目指します。



▲ 市内小学校での授業の様子②

生涯現役社会の実現に向けた取組

【高齢福祉課】

生涯現役プラチナ応援事業 6,813 千円

65歳以上の方を対象に、石岡市および石岡市社会福祉協議会が主催するプラチナ応援対象事業の講演会や教室等に参加した場合にポイントを差し上げます。集めたポイントは市内協賛店で利用できるプラチナ応援券と交換できます。

【保険年金課・健康増進課・介護保険課】

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 8,972 千円

包括的な疾病管理がより重要となっている中、健康・医療情報などを活用し、地域の疾病構造や健康課題を踏まえ、高齢者に対する個別支援や介護保険における通いの場などへの積極的な関与を行います。これにより、フレイル予防の普及啓発や運動機能等の健康教育・健康相談を実施します。

輝く「暮らし」プロジェクト

企業誘致をはじめとした各取組を推進し、持続可能な商工業や農業の振興を図ります。また、市民が主体となり行う、様々な文化芸術活動や地域コミュニティの活性化に向けた取組の支援、国際交流の推進などにより様々な人が活躍できる共生社会の構築を目指します。

持続可能な産業振興

【産業プロモーション課 企業誘致推進室】

企業誘致の推進 **24,908** 千円

新規企業の誘致に向けて、産業用地を確保する取組を進めています。令和6年度は、令和5年度に実施した調査により抽出した適地について、企業ニーズや地域の意向を踏まえながら必要な手続を進めていきます。また、引き続き既存企業への支援を実施します。

新規 【商工観光課】

商店街の街路灯電気料補助
LED化・修繕・撤去支援事業 **8,287** 千円

商店街街路灯が担う「まちを照らす＝防犯」の役割維持とともに、街並みの景観確保を図るため、商店街団体等が担っている街路灯の電気料や適切な管理に対する支援を行います。

【農政課】

新規就農者への支援（再掲） **47,875** 千円

朝日里山ファームにおいて、新たに農業を営もうとする方に、農業経営に必要な技術や知識を習得する環境を提供し、有機農業などの地域農業を支える担い手育成や活性化を図ります。また、石岡市新規就農者支援センターでは、就農相談から就農後の定着・経営発展まで支援を行い、次世代を担う農業者の経営確立支援を推進します。



▲ 石岡市内産の野菜



▲ 柏原工業団地

新規 【商工観光課】

奨学金返還支援事業（再掲） **4,872** 千円

市内企業等の人材確保を図るため、大学等を卒業後、市内企業に就職し、県奨学金および日本学生支援機構奨学金等の奨学金を返還している市内定住の35歳未満の市民に対し、奨学金返還費用の一部を補助するとともに、介護・福祉分野等の従事者へは補助率をかさ上げします。



▲ 新規就農者支援により市内で就農した方々

新規 【農政課】

オーガニックビレッジ宣言
に向けての取組 **3,288** 千円

地域ぐるみで有機農産物の生産から消費まで一貫して取り組む「オーガニックビレッジ」を目指して、生産・流通・加工、消費について更なる取組を実施し、有機農業実施計画を作成します。



- ☑ 政策目標 7 産業・経済
- ☑ 政策目標 8 地域・文化

住民参加型の地域づくり

新規 【コミュニティ推進課】

コミュニティ事業費補助金 **1,000** 千円

地域の情報発信や啓発事業、交流事業などの各自治会等で行う様々な事業にかかる経費について、一部を支援することで、地域コミュニティの活性化を図り、魅力的な地域づくりを行います。

【コミュニティ推進課】

対話によるまちづくり
石岡未来会議の開催 **252** 千円

市民と行政が共にまちづくりを進めていくための対話の場として開催しています。よりよいまちづくりのアイデアが生まれ、実現していくことを目指して、毎年度、様々なテーマを設け、協働のまちづくりを推進しています。

文化芸術の推進

新規 【文化振興課】

音楽ワークショップの開催 **1,314** 千円

中学生や高校生をはじめとする市民を対象として、音楽ワークショップを開催します。音楽家の指導を受け、成果を発表する場を設けることで、音楽などの芸術文化に親しむ取組を推進します。

【文化振興課】

市民がつくる
コンサート開催事業 **500** 千円

市民が主体となった文化芸術活動を推進するため、市民がつくるコンサートを通じて優れた文化芸術と触れ合える機会を創出する事業に対して補助を行います。

【駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室】

複合文化施設整備基金（再掲） **100,000** 千円

地域文化をはじめとする文化芸術を継承、交流、発信する文化拠点であるとともに、人々が集い、互いに絆を結ぶ交流拠点を目指します。着実に施設整備を進めることを目的に、令和5年度に引き続き、施設整備に係る事業費の計画的な確保に取り組みます。



▲ 令和5年度 市民がつくるコンサート

多様性の尊重・共生社会の構築

【人口創出課】

男女共同参画の推進 **400** 千円

全ての市民が活躍できる社会を目指して女性の活躍促進、ワークライフバランスの推進、ジェンダー平等実現に向けた取組の推進などを行います。令和6年度は、イクボスセミナーや父子料理教室などを通して、ワークライフバランスの推進に取り組みます。

拡充 【人口創出課】

国際交流の推進 **1,371** 千円

外国人向けの情報発信や外国人と市民との交流事業を実施する市内の交流団体の活動を支援することにより、国際交流を推進します。あわせて、海外の都市との友好関係を築くための取組を実施します。

チャレンジする市役所 プロジェクト



行財政改革とは

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくための取組です。

【石岡市における行財政改革】

- 最少の経費で最大の効果を上げる
- 組織および運営の合理化に努める
- 市民と行政との協働の推進や事業の再評価・重点化
- 行政の担うべき分野や行政資産の配分の見直し
- A I などの技術革新がもたらす社会変革への対応
- 働き方改革



チャレンジする市役所への取組

総合計画において、すべての分野を下支えするものとして「チャレンジする市役所」を位置づけています。

【チャレンジする市役所に向けた取組】

- 常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神
- やりがいが得られる組織風土の構築
- 挑戦できる人材の育成
- 限りある財源の効果的・効率的な活用
- 総合計画・行政資産・実施事業の連動
- 社会情勢の変化にも即応できる体制づくり



チャレンジする市役所の2大テーマ

チャレンジする市役所の推進力を高めるためには、サービスの選択と集中を行える「組織および人材」と「財政」が軸になります。以下の2つのテーマについて、各施策を横断して、重点的・戦略的に取り組みます。

組織・人材マネジメントの充実

主な取組 | 組織づくり、人材の確保・育成による温かみのあるサービスの提供に向けた取組

- 組織機構の最適化
- 人材の確保・定員管理
- コンプライアンスの徹底
- 働き方改革の実践
- 民間活力の積極的な活用

経営・財務マネジメントの充実

主な取組 | 行政資産（ヒト・モノ・カネ）を有効に活用し、様々な行政サービスへの需要に応えるための取組

- 財政推計との連動を高める事業査定
- 市民に対する財政推計の積極的な情報公開
- ファシリティマネジメントの推進
- ふるさと応援寄附金や有利な地方債、国県補助金等の活用による歳入確保

※ファシリティマネジメント：組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画・管理・活用して最適化を図る経営活動



▲ 市職員による職員提案制度の発表の様子



▲ 高齢者向けLINE講座

組織・人材、経営・財務マネジメントの充実

拡 充 【ふるさと納税・財産活用課】

ふるさと応援寄附金事業 **104,669** 千円

財源の確保や本市の魅力発信、地域経済の活性化等を目的として、ふるさと納税の取組を実施しています。申し込みサイトや返礼品数の増加、スマートフォンアプリによるふるさと納税、先行予約などに取り組み、利用しやすい環境づくりに努めるとともに、寄付額の増加を目指しています。



◀ 令和5年度
ふるさと応援寄附金
パンフレット



▲ 総合計画に関する若手職員ワークショップ

【情報政策課】

BPRの推進 **3,300**千円

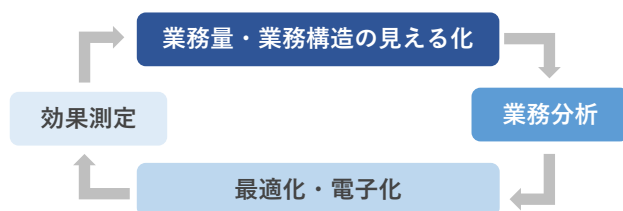
限りある財源で持続可能な行政運営や行政手続きなどの効率化を図るため、デジタル化を中心とした業務の変革を実施するにあたり、BPRの手法による業務分析を実施しています。

【総務課】

人材確保の強化

本市では「現状打破！わがまちの魅力アップ」をキャッチフレーズに、石岡が好きで市民のために働きたいと熱い思いを持った即戦力となる人材の早期獲得のため、秋採用を実施します。また、豊富な人生経験を市政に活かしていただくため「チャレンジいしおか卒」を設定し、転職して石岡を輝かせたい、夢を実現したい職員を募集し、人材確保を強化しています。

※BPR：ビジネスプロセス・リエンジニアリング。業務内容やフローを根本的に見直し、再構築を図ること。



デジタル技術を活用した取組

拡充 **【情報政策課】**

オンライン申請による
利便性向上 **964** 千円

オンライン申請の拡充による市民の利便性向上やペーパーレス化の推進を目的とし、職員が効率的にオンライン申請を作成できる環境整備に取り組みます。

デジタル技術を活用したその他の新たな取組

- ☑ 保育所等の ICT 化
- ☑ 小中学校保護者向け連絡アプリの導入
- ☑ 子育て支援アプリの導入
- ☑ 地籍調査成果品等のデジタル化



 Ishioka City



【令和6年度】
石岡市総合計画第2期基本計画
リーディングプロジェクト

発行 石岡市 市長公室政策企画課

〒 315-8640 茨城県石岡市石岡一丁目1番地1

☎ 0299-23-7277

📠 0299-22-5276

✉ kikaku@city.ishioka.lg.jp